

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2011-190378
(P2011-190378A)

(43) 公開日 平成23年9月29日(2011.9.29)

| (51) Int. Cl. | F I | テーマコード (参考) |
|-----------------------------|---------------|-------------|
| C08J 7/00 (2006.01) | C08J 7/00 304 | 3E064 |
| B65D 65/02 (2006.01) | C08J 7/00 CES | 3E075 |
| B31B 1/74 (2006.01) | B65D 65/02 E | 3E086 |
| B65D 30/02 (2006.01) | B31B 1/74 321 | 4F073 |
| B31B 1/88 (2006.01) | B65D 30/02 | |

審査請求 有 請求項の数 16 O L (全 10 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号 特願2010-58694 (P2010-58694)
 (22) 出願日 平成22年3月16日 (2010. 3. 16)

(71) 出願人 592167411
 香川県
 香川県高松市番町4丁目1番10号
 (71) 出願人 591085916
 丸善工業株式会社
 香川県坂出市大屋富町1826番地の8
 (74) 代理人 100106002
 弁理士 正林 真之
 (74) 代理人 100120891
 弁理士 林 一好
 (72) 発明者 白川 寛
 香川県高松市郷東町587-1 香川県産
 業技術センター内

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 包装袋用材料の製造方法、製造装置及び包装袋

(57) 【要約】

【課題】印刷特性及び融着性のバランスに優れた包装袋用材料の製造方法及び包装袋用材料の製造装置、並びにこの製造方法で製造される包装袋用材料から形成される包装袋を提供すること。

【解決手段】包装袋用材料の製造方法は、熱可塑性樹脂フィルムPの少なくとも一面を、酸素又はオゾンを含む雰囲気中に配置し、酸素又はオゾンに23から紫外線を照射し、生成される活性酸素に熱可塑性樹脂フィルムPの少なくとも一面を曝すことで、表面処理を行う工程を有する。オゾンは、熱可塑性樹脂フィルムPの少なくとも一面を、酸素を含む雰囲気中に配置し、酸素に23から紫外線を照射することで生成する。

【選択図】 図1

